

4

大電協

提案営業力強化を呼び掛けける

平成24年度第3回
理事会を開催

山口理事長「自ら提案して仕事獲得を」

大阪電気設備協同組合（山口重治理事長）はこのほど、大阪市天王寺区の家電会館で平成24年度第3回理事会を開き、理事25人が出席した（理事総数28人）。理事会のあと、別会場に用意された新年賀詞交歓会へと席を移し、大阪府議会議員の朝倉秀実氏も駆け付ける中、ともに新年の門出を盛大に祝った。

会場の様子

冒頭挨拶で山口理事長は、「電気工事業界は引き続き、厳しい状況が予想される」と気を引き締めつつも、「昨年末の政権交代後、景気は回復ムードにあり、住宅着工件数が3か月連続でプラスとなるなど、明るい兆しも見えている」ことを強調。さらに、省エネ・節電に対するニーズが一層の高まりを見せていてことなどを挙げ、「時代が変化している」と指摘し、「自ら提案して仕事を獲得していく」ねばならない。組合で行政の仕事を受注していくことも検討する必要がある」と述べ、今後、公共工事の入札にも積極的に参加していくべきとの考えを示した。

「いざれにしても、電気工事業界は正念場を迎えており、時代の変化に対する備えをし、

情報通信関連も含め、あらゆることを勉強しながら、事業拡大を図って頂きたい」と自助努力を呼び掛け、「高齢化で組合員も減少しているが、引き続き皆様の協力のもと、組合の発展に尽力していきたい」と抱負を述べた。

最後に「今年は已年で、エネルギーに満ちた年。24年前の平成元年は日経平均株価が最高値を記録し、12年前の平成13年も景気の良い年だった」と記憶している。今年もそれにあやかり、恵まれた年になれば」と期待を込め、挨拶を結んだ。

理事会では、事業の運営状況をそれぞれ各部長が報告し、全議案を賛成多数で承認した。技術部の児島暉洋部長は、2月22日に支部技術相談員会を開催することを報告し、福利厚生部の丸若恒雄部長は「寒い時期でもあり、健康には留意して欲しい」と呼び掛けた。また、組織部の八木一夫部長は、2月~3月の組織増強キャンペーンに対し協力を求め、広報部については、担当の山田修副理事長が



山口重治理事長



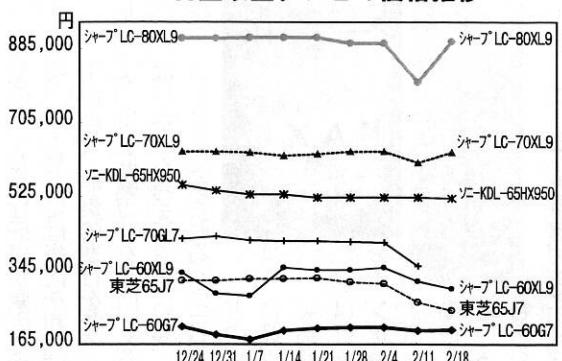
5

40・42型と32型に安売り飛び火

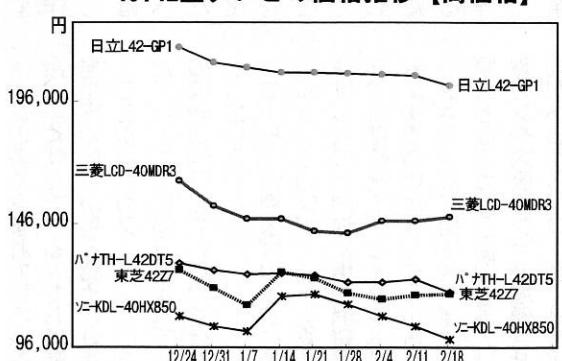
32型と40・42型、60型以上のテレビ

～2月18日まで9週の売価推移／本紙調べ～

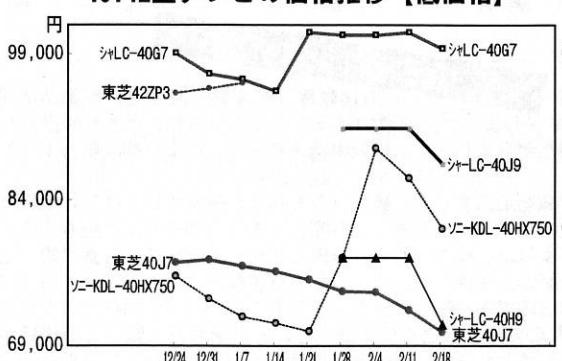
60型以上テレビの価格推移



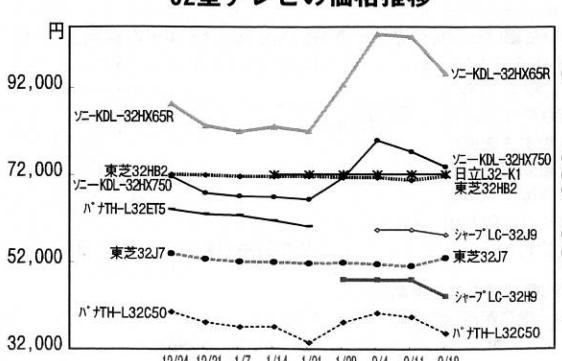
40・42型テレビの価格推移【高価格】



40・42型テレビの価格推移【低価格】



32型テレビの価格推移



先週は60型以上の値下がりが目立ったテレビ市場だが、今週は40・42型と32型にも安売り競争が飛び火した格だ。本紙は2月18日まで9週間に亘って、32型と40・42型60型以上のテレビ売価を調査

◎ 安定
○ やや安定
△ リスクあり
▼ かなりリスクあり

査。それによると、2月11日から同18日かけては、60型以上で値上げが3機種と括り、値下げが3機種と括り、半面、先週は売価が安定的に推移していた40・42型と32型で、全18機種のうち下落が13機種、横這い1機種、上昇4機種となり、安売りに勢いがついた状況。値下げで最大は東芝65丁（60型以上）の2万円。

このコーナーの趣旨

電器店にとって仕入れと販売のタイミングは粗利確保の上で重要。市場の流れからそれを見極めよ!

◇先が読める

最近のネットショッピング価格を調査対象にしているので、やがてそれが店頭の売り出し価格に反映する可能性もある。

◇粗利が確保できる

グラフにおいて、仕入れた機種が高どまりで安定していれば、相応の粗利を設定していても安心して販売できる。

◇売るタイミングが分かる

仕入れた商品が、グラフ上で激しく変動していれば、それは店頭価格にも影響を及ぼすので手持ち在庫は安売り合戦に巻き込まれる前に、いち早く売るほうが賢明かもしれない。

◇安く仕入れられる商品が探せる

グラフ上で値崩れしている商品は、仕入れも下がっている可能性が高い。

※グラフのデータは本紙がインターネット上の売り出し平均価格を調べ、その推移を辿ったものである。本紙独自の集計に基づいて作成しており、店頭での実勢価格とは一致しないため、あくまで参考にとどめられるようお勧めする。実際の仕入れや販売は販売店自らの責任でおこなうことをお願いする。

説明し、組合への意見や要望など、広報誌への記事投稿をお願いした。経営合理化推進部

の廣瀬益美部長は、昨年12月6日に部会を開催したことを報告し、財政総務部については、

担当の田中貞夫副理事長が「毎月部会を開催し、健全財政に努めている」と報告した。